

卓越した業績を目指して

ー小学部なくして開倫塾なしー

開倫塾
塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1) 小学部は教育の基礎、開倫塾の基礎
 - ① 読み、書き、計算は基礎教育の中心
 - ② 小学生のうちに、学年相応の自己学習能力の育成も
 - (2) 教育のメインストリームは学校教育、学習塾の教育は学校教育を補うもの
 - ① しかし、補うことがあまりにも多い。
 - ② フル・コミットメントで、補えることはすべて補うことが開倫塾の社会的使命 (mission ミッション) と考える。
 - (3) 学力を決定する要因
 - ① 読書の絶対量 (新聞も読書の一部)
 - * 「教育にも新聞を (NIE)」を小学生にも
 - ② Learn How To Learn (学び方を学ぶ) スキル・能力を、小学生にも持たせよう
 - ③ 本人の自覚を促そうー受験生には、目標を明確に具体的に持たせることー
- 私立中学校 } 受験者には、小 5 から受験校を明確にさせ、勉強を生活の中心にさせること
公立中中高一貫校 } とも大事。不合格者ゼロの開倫塾づくりを

2. 小学部にも「学習の 3 段階理論」の徹底を

- (1) 授業や予習で「理解」の促進を
 - ① 予習の方法、授業の受け方、ノートを取り方の指導を
 - ② わかりやすく、楽しくなければ、「開倫塾」ではない
 - * 明るく、楽しく、元気よく
- (2) 「定着」のための「練習方法」も、授業中に指導を
 - ① 「音読練習」
 - ② 「書き取り練習」
 - ③ 「計算 (問題) 練習」 } 「自習」をさせることも遠慮しない
- (3) 私立中学校、公立中中高一貫校入試の全面展開
 - ① 県立高校入試と全く同じ方法で O.K
 - ② 但し、相手は小学生であることを忘れずに
- (4) 小学英語クラスー徹底指導をー
 - * 「スズキメソッド (バイオリン)」で子供はバイオリンが好きになり、バイオリニストになる子供も出ている。ー小学生の英語は、開倫塾だけで教育の成果を上げようー

3. おわりに

- (1) 楽しいイベント
- (2) 保護者面談で親身な相談を
- (3) 1 校舎 100 名の小学生を目標にしよう (地域の小学生や保護者から支持される開倫塾小学部づくりを)
- (4) 健康第一 (心の健康、身体の健康を大切に)